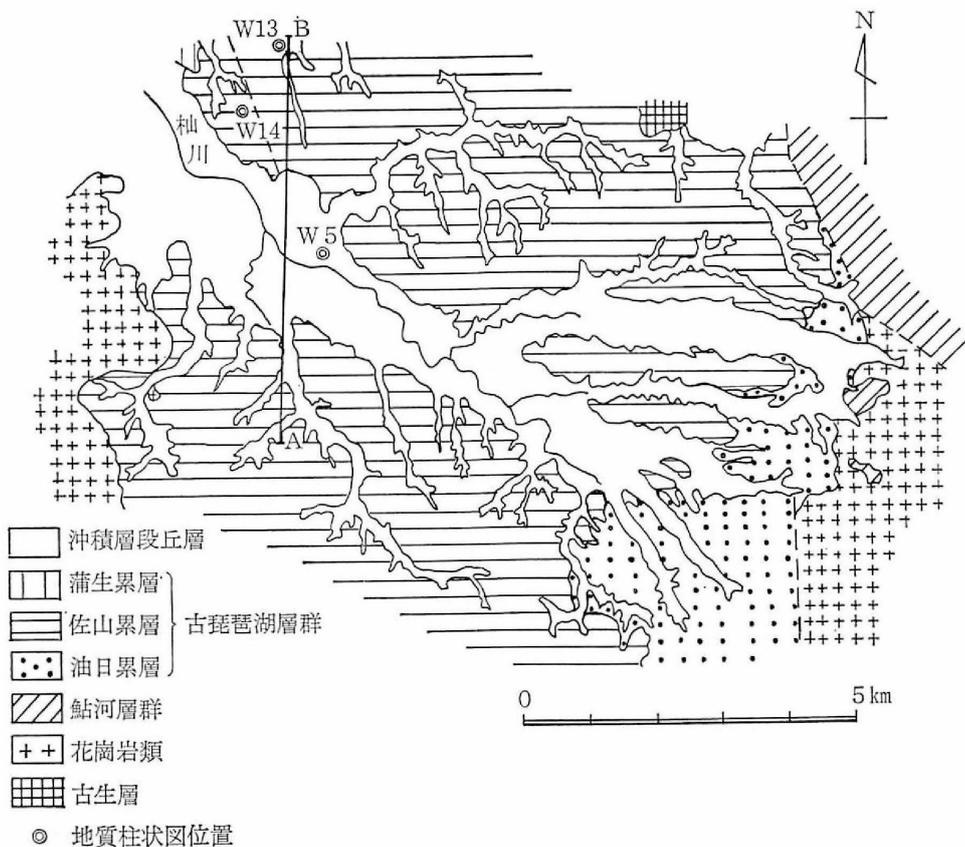


地形・地質

甲賀盆地は東を鈴鹿山脈、西を信楽山地に限られ、北は近江盆地の主部、南は伊賀盆地に接する標高 200～300m の丘陵が主体を占めています。地質は古琵琶湖層群よりなり、その上位に段丘堆積物と沖積層が薄く分布しています。



甲賀盆地の地質概要図

地下水

帯水層は甲南地域で葛木砂層と油日砂層が、甲賀地域で油日砂層が主要なものと考えられます。

甲賀盆地の地質層序

		地 層	火 山 灰 層 (タフ)
古 琵琶 湖 層 群 (下部)	蒲生累層	布引山粘・土砂互層	虫生野 (むしょうの) 内 貴 (ないき)
	佐	小佐治粘土層	上 出 (かみで) 小佐治 (こさじ)
		岩室粘土層	岩 室 (いわむろ) 宝蔵院 ^I _{II} (ほうぞういん)
	山	砂 坂 砂 層	
	累 層	野尻粘土層	相 模 (さがみ)
		葛木砂層 櫟野粘土層	磯 尾 ^{II} _I (いそお) 馬 杉 (ますぎ)
		和田粘土層	櫟 野 (いちうの) 湯 舟 (ゆふね)
	油日累層	油 日 砂 層	

出典 日本の地下水 (農業用地下水研究グループ,1986) (一部加筆)

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/ (日本地下水学会)